

協議事項 4

全国学力・学習状況調査及び神戸市学力・学習状況調査の CBT 化について

全国学力・学習状況調査及び神戸市学力・学習状況調査の CBT 化について、協議事項として以下のとおり提案する。

令和 7 年 5 月 8 日提出

神戸市教育委員会事務局

事務局長 竹森 永敏

全国学力・学習状況調査及び神戸市学力・学習状況調査の CBT 化について

1. 令和7年度 全国学力・学習状況調査（全国調査） 実施概要

(1) 小学校

対象	小学6年生（165校、11,657人）
実施日	令和7年4月17日
教科・調査方法	国語・算数・理科／PBT（冊子を用いた筆記方式の調査） 質問調査／ICT 端末を用いたオンライン方式

(2) 中学校

対象	中学3年生（87校、11,220人）
実施日	令和7年4月17日 ※理科のみ4月14日～17日
教科・調査方法	国語・数学／PBT <u>理科・質問調査／文部科学省 CBT システム(MEXCBT：メクビット)によるオンライン方式</u>

2. 中学校理科 CBT の実施について

(1) 今回の調査の特徴

- ・観察、実験に関する動画等を用いた設問、様々な操作による回答方法【参考2参照】
- ・公開問題と非公開問題を組み合わせた構成とし、幅広い内容・難易度、生徒ごとに異なる問題を設定（IRT方式(Item Response Theory)の導入）
- ・公開問題：全日程共通問題[6問]・実施日別問題[4問]、非公開問題：[16問]

(2) 本市における実施状況

各学校で事前検証の実施等など準備を行い、システム運用を含め概ね混乱なく円滑に調査が実施できた。

[実施に際し不具合のあった学校] 6校（15人）

- (主な原因)・調査問題が表示されなかった、又は表示に時間を要した
- ・調査の途中でOSのアップデート等が始まった

3. 令和7年度 神戸市学力・学習状況調査（市調査）に向けて

(1) 実施概要

- ・全国調査のCBT化に先行して、小中共にすべての教科・質問調査でCBT調査を実施
- ・実施時期 令和7年9月中（1週間程度の期間中、各校調整）
- ・対象学年・教科 小学4年 国語・算数
小学5年 国語・算数・理科
中学1年 国語・数学・英語
中学2年 国語・数学・理科・英語
※学習環境等に関する質問調査を合わせて実施

(2) 全国調査を踏まえた市調査の方向性・対応

①今回の全国調査（中学校CBT）の特徴（2. (1)参照）を踏まえ、市調査においても、CBTの特徴を活かした問題の作成及び、本市の課題に対応した設問を調整中。

例）・動画を見てその内容に基づいて質問に答える問題や、図をドラッグし試行錯誤しながら考える問題

・本市の課題である、自分の考えを説明する問題や、根拠を明確にして理由を記述したりする問題

②自動採点技術を活用し、個々の児童生徒の各設問への回答状況に応じた課題や習熟状況を洗い出し、学習指導の改善や授業改善につなげる。

③学校規模に応じ実施時間を分散する等、円滑な運用に備えた準備について調整。

④CBT調査が未経験の学年に、あらかじめ操作練習の機会を設ける。

【参考1】全国学力・学習状況調査 CBT化の経緯

文部科学省は、GIGA スクール構想により児童生徒1人1台端末環境が整備されたことを踏まえ、調査問題の充実・多様化、多角的な分析によるフィードバックの充実に向け、令和7年度以降の調査をCBTで実施する計画を進めている。

(スケジュール)

令和5年度 中学校調査 英語「話すこと」調査をCBTで実施

令和6年度 // 質問調査をCBTで実施

令和7年度 // 理科・質問調査をCBTで実施

令和8年度 // 英語・質問調査をCBTで実施

令和9年度 小・中学校調査 CBTに全面移行

